

3) 生態系の状況

(1) 自然環境の類型区分

事業実施想定区域及びその周囲においては、地形区分としては「台地、低地、人工地形」に区分されます。また、植生区分としては、「樹林、河辺・湿原等、耕作地及び緑の多い住宅地等」に区分されます。

これらの状況から、事業実施想定区域及びその周囲における自然環境の類型区分は、表 3.1-36 に示すとおり、「台地・低地の樹林」、「河辺・湿原等」、「耕作地及び緑の多い住宅地等」に区分され、それらを生息、生育基盤とする生態系が成立しています。

表 3.1-36 自然環境の類型区分

地形区分	植生区分	類型区分
○台地 ○低地	○樹林	○台地・低地の樹林
○低地	○河辺・湿原等	○河辺・湿原等
○台地 ○低地 ○人工地形	○耕作地及び緑の多い住宅地等	○耕作地及び緑の多い住宅地等

(2) 動植物相並びに生息・生育基盤の状況

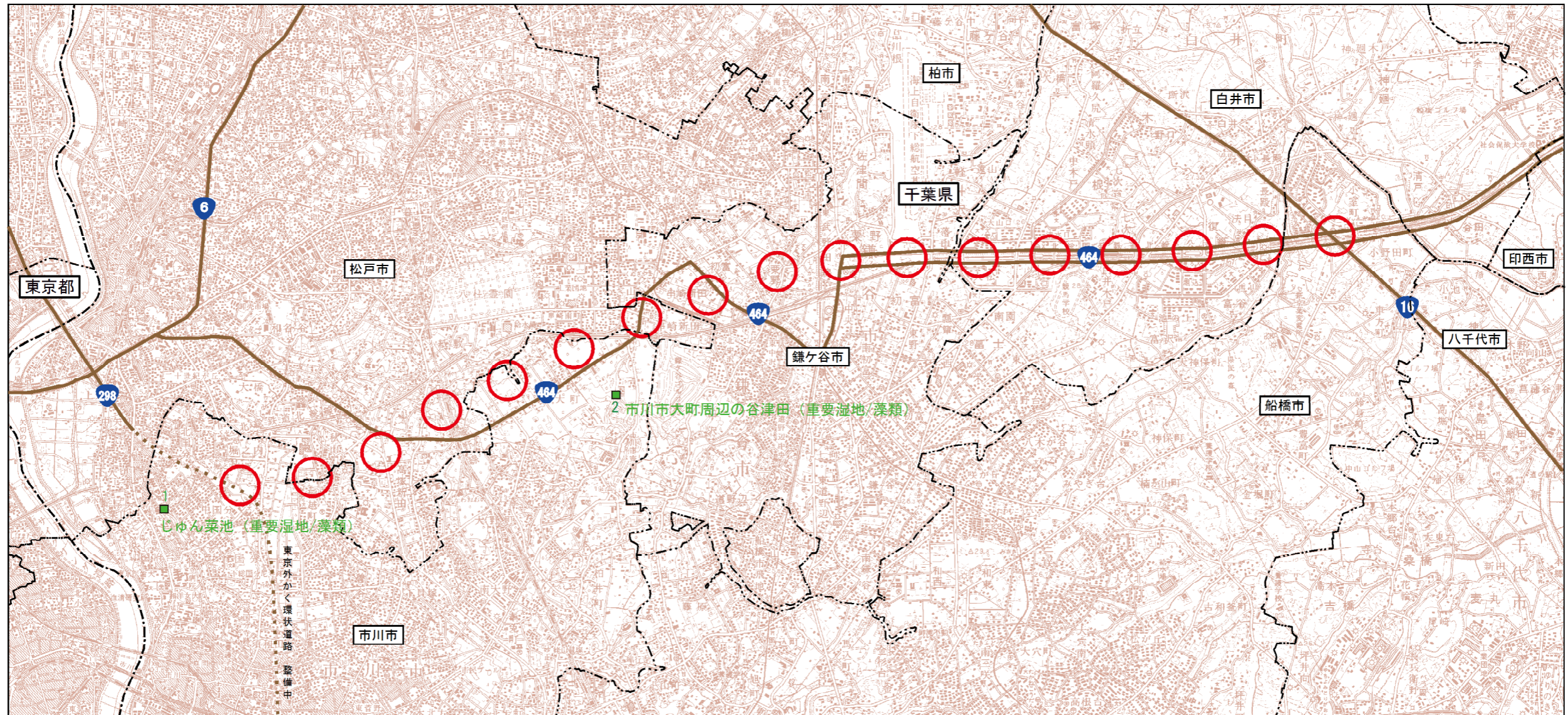
事業実施想定区域及びその周囲における動植物相並びに生息・生育基盤の状況として、「重要湿地」として指定された湿地が2箇所存在します。

事業実施想定区域及びその周囲における重要湿地の状況は、表 3.1-37 及び図 3.1-26 に示すとおりです。

表 3.1-37 重要湿地の状況

市名	No.	名称	選定理由
市川市	1	じゅん菜池	イノカシラフラスコモの生育地。 貴重な種を含むトンボ類が豊富に見られる。
	2	市川市大町周辺の谷津田	スナヤツメ、ホトケドジョウなどの生息地。

出典: 「生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)」(環境省自然環境局、平成29年7月閲覧)



凡例

記号	名称
○ ○ ○	事業実施想定区域
-----	都県界
- - - - -	市区界

記号	種別	No.	行政区	名称
■	重要湿地	1	市川市	じゅん菜池 (藻類)
		2		市川市大町周辺の谷津田

出典：「生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）」（環境省自然環境局、平成29年7月閲覧）



1:62,500

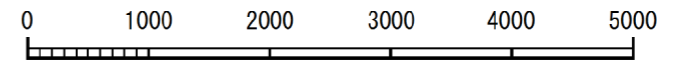


図 3.1-26 重要湿地位置図

3.1.6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

1) 主要な眺望点及び景観資源の分布及び概況

(1) 主要な眺望点と眺望景観の状況

事業実施想定区域及びその周囲における主要な眺望点と眺望景観は、表 3.1-38 及び図 3.1-27 に示すとおりです。

主要な眺望点については、曾谷の高台からの眺めやかまがやスカイビュー等が存在します。

表 3.1-38 主要な眺望点と眺望景観

所在地	番号	名称	内容
市川市	1	アイ・リンクタウン展望施設	市川駅南口を出てすぐ右にそびえ立つ「ザ・タワーズ ウェスト」の45階は無料で利用できる展望台になっている。市川市、江戸川を挟んで東京、埼玉を眺めることができる。さらに天気の良い日には東京タワー、東京スカイツリーとともに富士山を拝むこともできる。
	2	里見公園からの東京・江戸川の眺め	江戸川越しに東京スカイツリーと富士山の眺めが朝焼け・夕焼けともに楽しめる。
	3	和洋学園のラウンジからの眺め	18階ラウンジからは江戸川が間近に見下ろせる。
	4	曾谷の高台からの眺め	夕日と富士山と東京スカイツリーが一直線に並ぶカメラマン必見の眺望。
	5	白幡神社と高台からの眺め	境内には四季折々の草花が咲き、高台から市内を見渡すことができる。
	6	北方小学校からの眺め	子之神社の緑や、春には桜並木が見渡せる。
船橋市	7	高才川緑地公園からの眺め	斜面上段の遊具広場からの眺めは素晴らしく、眼下に広がる水田や調整池が一望でき、刻々と変化する夕暮れ時には、幻想的な風景が映し出される。
松戸市	8	野菊苑展望台	富士山を望むことができる。
鎌ヶ谷市	9	かまがやスカイビュー (鎌ヶ谷市役所屋上)	鎌ヶ谷市役所の屋上は、建物の高さが市内でも比較的高く、市内を大きく見渡せることが出来るほか、市役所の西側は、大きな建造物が少なく、見通しが良いため、“富士山”と一緒に“東京スカイツリー”を展望することができる。

出典：「市川さんぽ」(株式会社交通新聞社・市川市観光協会)
「いちかわ景観100選」(市川市街づくり部まち並み景観整備課)
「ふなばしおさんぽまっぷ(北エリア)」(船橋市観光協会ホームページ)
「水とみどりと歴史の回廊マップ」(松戸市ホームページ)
「鎌ヶ谷市ホームページ」(鎌ヶ谷市)